

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-07-01
事務事業名	備前病院病院運営事業		
事業開始年度	17年度		
根拠法令・要綱等	医療法 備前市国民健康保険病院条例		
担当課(室)	市立備前病院 事務部		
職・氏名	庶務係長 今脇誠司		
電話	0869-64-3385		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目 施策	病院事業(備前病院)	

事業の実施	対象(誰・何に対して)	出資者である市民
	目的(何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進を図るため
	行政活動(どのような方法で)	医療サービスの質の向上のため、各種会議や委員会を開催して運営状況等を毎回検証している。また、委員会に係る医療の各分野について各種研修を実施している。
	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が安心して医療を受けられる体制とすることが第一義であり、安定的な経営を行うことによって、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	幹部会議	回	16	52	52
	運営管理会議	回	12	12	12
	業務改善委員会	回	12	12	12
	診療収益向上委員会	回	12	12	12
	診療管理会議	回	12	12	12
	その他病院事業運営委員会	回	37	37	45
	事業費	千円			
	直接事業費		33,553	30,468	24,032
	人件費		71,551	67,063	53,678
事業費計		105,104	97,531	77,710	
財源	千円				
国県支出金		284	284	284	
受益者負担					
市					
その他収益的収入		104,820	97,247	77,426	
必要人員	人	8.00	7.60	6.73	
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
会議出席者延数	説明				
結果指標	結果指標量	340	484	484	
	対前年比%	-	142.4%	100.0%	
	活動コスト	0	0	0	
	単位当たりコスト	0	0	0	
結果指標	各種委員会出席者延数	説明			
	結果指標量	822	836	836	
	対前年比%	-	101.7%	100.0%	
	活動コスト	22,925,000	23,828,000	22,090,112	
	単位当たりコスト	27,889	28,502	26,424	

事業の成果			
成果指標名	決算における純利益	式又は説明	収益的収入-収益的支出
		17年度	18年度
成果指標量	16,577,372.00	81,358,027.00	164,812,028.00
対前年比		490.78%	202.58%
到達目標値	± 0	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 間法令等で目的が定められており妥当である(法律・政令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A-E> A 課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として安全で良質な医療を提供するためには必要不可欠な事業である。
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が開与しなければならぬ事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価 <A-E> B 課題認識	
効率性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	バス路線の改定に伴う通院対象地域の減少、市内他病院の新築や外科医引上げに伴う患者減、診療報酬の改定及び市からの繰入金削減など、経営環境は厳しさを増している。医療機器の更新を含め施設整備については中・長期計画に基づき効率的に行う必要がある。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の見解・要望が反映しやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A-E> C 課題認識
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	地域の人々に信頼される病院として安定した医療の提供を行なうことを最大目的としている。そのため、施設の維持・整備を進めていくためには利益を確保する必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成20年度の状況		説明	事業全体の中で可能な部分について効果的な事業着手を行なう。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	結果指標量	± 0

総合評価		評価区分 <A-E>	
18年度で診療科目を増設、19年度では内科の土曜開院を行った。20年度では一般病棟入院基本料を13対1から10対1への変更や医師・看護師等の確保のための院内保育を予定するなど、可能な事業等から着手している。しかし、19年度途中から外科医3名の引上げに伴って外科入院患者の転院等を余儀なくされ、大幅な収益減となるなど、20年度以降もその影響が懸念される。今後においても繰越欠損金の解消を目指し、更なる努力を行なう必要がある。また、老朽化による病院建替えについては医師確保や医療圏について実効性を検証したうえで公立病院改革に沿って結論をたす必要がある。起債を含めた資金繰りについても健全な経営計画が前提となる。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	医師・看護師等の確保、医療機器整備の効率的運用	毎年度	医療サービスの向上と安定的供給
妥当性	公立病院改革プランに沿った業務内容の見直し	毎年度	経営基盤の安定と長期業務運営の推進
有効性	基準内繰入遵守の要請、各種経営分析によるコストの効率化	毎年度	当年度純利益の増と繰越欠損金の減